

平成 21 年度体温調節、温度受容研究会 プログラム

代 表 者：小林茂夫（京都大学 情報学研究科 知能情報学専攻）

所内世話人：富永真琴（岡崎統合バイオサイエンスセンター）

日時：2009. 9. 10(木)～11(金)

場所：岡崎カンファレンスセンター

1 日目 9 月 10 日(木) 一般発表

(発表：15 分+討論：5 分=20 分)

13：25 開会の挨拶

1-①

13：30～13：50 「体温調節における DRG 小型ニューロンの役割と UCP」
山下 均（中部大学生命健康科学部生命医科学科）

1-②

13：50～14：10 「TRPM8 と低温環境下での体温調節」
田地野浩司* 細川浩* 前川真吾* 松村潔** 柴草哲郎*** 井上和生***
伏木亨*** 小林茂夫*
(*京都大学 情報学研究科 知能情報学 生体情報処理分野**大阪工業大学
情報科学部 ***京都大学大学院農学研究科食品生物科学)

1-③

14：10～14：30 「温熱的快適感の部位特異性」
中村真由美^{1, 4} 依田珠江² 春日桃子¹ Larry I. Crawshaw³ 内田有希⁴
時澤健⁴ 永島計⁴ 彼末一之¹
(¹早稲田大学スポーツ科学学術院 ²獨協大学国際教養学部 ³Department of
Biology, Portland State University ⁴早稲田大学人間科学学術院)

～10 分休憩～

1-④

14:40~15:00 「寒冷暴露に備えた冷涼環境下での代謝調節」
内田 邦敏^{1) 2)}、志内 哲也^{2) 3)}、稲田 仁¹⁾、箕越 靖彦^{2) 3)}、富永 真琴^{1) 2)}
(¹⁾ 岡崎統合バイオ (生理研)、細胞生理²⁾ 総研大、生理科学³⁾ 生理研、
生殖・内分泌)

1-⑤

15:00~15:20 「ハムスターの褐色脂肪組織 (BAT) は冬眠行動に不可欠か？ :
低温下での BAT 機能」
○北尾 直也、橋本 眞明
(旭川医科大学 生理学講座 自律機能分野)

1-⑥

15:20~15:40 「ヒト褐色脂肪：寒冷下での体温・エネルギー消費の調節」
米代武司¹⁾、会田さゆり¹⁾、松下真美²⁾、斉藤昌之¹⁾
(¹⁾ 天使大学大学院 看護栄養学研究科、²⁾ 天使大学 看護栄養学部)

1-⑦

15:40~16:00 「ヒト褐色脂肪：加齢に伴う変化」
斉藤昌之¹⁾、米代武司¹⁾、会田さゆり¹⁾、松下真美²⁾
(¹⁾ 天使大学大学院 看護栄養学研究科、²⁾ 天使大学 看護栄養学部)

~10分休憩~

1-⑧

16:10~16:30 「レプチンおよびグレリンが絶食時の時間特異的体温調節反応に及ぼす影響」
時澤健、尾上侑己、内田有希、森久恵、中村真由美、永島計
(早稲田大学 人間科学学術院 統合生理学研究室)

1-⑨

16:30~16:50 「プロスタグランジン E₂ はどのようにして脳から消去されるか」
松村潔、鈴木亜弥子 (大阪工業大学情報科学部)
前川真吾、細川浩、小林茂夫 (京都大学・院・情報学研究科)

1-⑩

16:50~17:10 「終板器官周囲部でのノルアドレナリンの体温低下作用」
大坂寿雅 (国立健康・栄養研究所)

2日目 9月11日(金) シンポジウム「省エネ型体温調節」

(発表：20分+討論：5分=25分)

9：20 挨拶

2-①

9：30～9：55 「生存戦略としての生物時計—その分子・細胞メカニズム」
本間さと
(北海道大学大学院医学研究科生理学講座 時間生理学分野)
(北海道大学大学院医学研究科 (寄附講座) 時間医学講座)

2-②

9：55～10：20 「温度受容と TRP チャネル」
富永真琴
(自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター (生理学研究所)
総合研究大学院大学 生命科学系生理科学専攻)

2-③

10：20～10：45 「体温調節の中樞神経メカニズム」
中村和弘
(京都大学・生命科学系キャリアパス形成ユニット)

～10分休憩～

2-④

10：55～11：20 「省エネ型体温調節」暑熱馴化の意義—個体レベルと社会レベルの観点から
紫藤 治、松崎健太郎、片倉賢紀、丸山めぐみ、李 光華
(島根大学医学部環境生理)

2-⑤

11：20～11：45 「ハムスターの冬眠時体温調節機構と神経細胞保護」
田村 豊
(福山大学薬学部)

2-⑥

11：45～12：10 「エネルギー代謝と体温調節の接点：昆虫の省エネ型体温調節」
梅田真郷
(京都大学化学研究所・超分子生物学研究領域)

12：10 (～12：30) 閉会の挨拶